

開講科目名 Course	労使関係論研究 (A) / Industrial Relations (A)
時間割コード Course Code	13581
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	火 / Tue 4
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	木村 牧郎
科目区分 Course Group	関連科目
教室 Classroom	6 3 E 演習室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	木村 牧郎 (経済学部)
授業の目標	この授業では日本の雇用システムと労使関係の理論的枠組みについて理解し、その枠組みに基づいて実際の職場における雇用や労働のあり方を正確に分析・議論する能力を習得することが目標です。
授業の概要	<p>この授業では日本の雇用システムの根幹をなす企業の雇用慣行（採用、雇用調整、退職制度など）・賃金制度・労使関係の理論的枠組みについて学びます。少子高齢化やグローバル化が進展するなかで日本企業は新たな働き方を模索・検討していますが、上記の理論的枠組みをヒントにしてこれらの現状や課題について履修生と議論します。</p> <p>授業では指定したテキストを用い、毎回履修生からテキストの内容報告をしてもらいます。報告を聞いたうえでその内容に関する現状や課題について議論します。</p>
評価方法	授業内での状況（発言、テキスト報告）で総合的に評価します。期末試験およびレポートは実施しません。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	毎回、履修生がテキスト内容の報告をします。報告担当者が無断欠席すると授業ができません。無断欠席した場合は失格となります。
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 労使関係論とは何か 第3回 労使関係と労働市場 第4回 労使関係と産業社会 第5回 労使関係と雇用身分 第6回 制度としての雇用 第7回 賃金制度 第8回 雇用調整制度 第9回 採用制度 第10回 退職制度 第11回 非正規雇用 第12回 女性雇用 第13回 雇用政策 第14回 労使関係 第15回 まとめ 第15回 まとめ
テキスト	佐口和郎（2018）『雇用システム論：制度としての雇用を捉える』有斐閣
参考書	

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	質疑応答はオフィスアワーもしくは担当教員へのメールで対応する。
フィードバックの方法	履修生によるテキスト報告内容についてその授業時間中にコメントする。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	毎回の授業につき2時間の予習と2時間の復習を課す。 予習は、テキストの該当箇所についてあらかじめ目を通し、分からない用語等を調べる。復習はテキストの該当箇所について振り返りをし、授業のなかで紹介した関連文献で理解を深める。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	